

子どもたちのために できること

古町育成部長 花岡正次

古町分館では今年度、小学校PTA主催の親子レクに絡めて、親子のふれあいと地域のさらなる交流、また、公民館の活用をねらって「お泊まり行事」を企画しました。

まずは保護者のみなさんや役員の意見を聞き内容を決めていきました。お昼にボウリングを楽しみ、公民館に移動してからは夕飯のカレーづくり。夕飯のあとは肝試しや花火を楽しんで、公民館でお泊まり。子どもたちの心に残るものとして、いくつかのイベントを入れてみました。



7月19日当日。まずはボウリング。親子をシャッフルしてのゲームは、友達のお父さんのストライクや子どもたちのスプリットスペアなど、いろんなプレーが出て一投一投に歓声が湧きました。それから古町公民館に集合。その間、PTA役員のみなさんがカレー作りを進めてくれました。子どもたちも机を並べたりホウ

イボードにプログラムを書いたりして準備を手伝いました。お父さん方も、わたあめのふるまいやそのあと行われる肝試しの準備をしてくれました。わたあめもカレーもおいしく食べてみんなご機嫌でした。続いて光徳寺に移動して肝試し。「ぜんぜん怖くなかった」と興奮気味に話す子どもを見て、楽しめたことがわかりうれしく思いました。夜の町をみんな歩いて帰るのもよい雰囲気でした。公民館に帰ってからは花火を楽しみました。あつという間の1日が終わり、夜は役員のみなさんが見守る中、子どもたちは大広間で眠りに就きました。

今回、小学校PTAのみなさんご協力やご協力により、子どもたちの心に残る行事になったことは、大変うれしいことでした。他の活動でも、私たち大人は常に「子どもたちのためにできること」を考えてきました。単にお膳立てをしてあげるというのではなく、子どもも主体的に関われて、なおかつ充実感を味わえるものを目指してきました。多くのお子さんがそれを味わえたのではないかと思っています。



綱引き大会と作品展

茂田井 大澤聖子

茂田井では、冬の運動不足の解消と地域コミュニケーションを目的とした各地区対抗綱引き大会を毎年1月の最終日曜日に開催しております。

今年で25回目となりまして、立科町茂田井と佐久市茂田井6地区の参加にて行うことができました。

各地区より、男女各1チームの総当たりで茂田井ローカルルールにて行われます。年齢・体重制限なし、選手の少ないチームの人数に合わせるなど各地区の状況に合わせて行います。

2年ほど前より各地区で女性選手を集めるのが大変になってきたため、女性チームを混合チームにし開催しております。

当日は区役員、公民館役員、常会役員総出で大会を盛り上げております。

試合は1チーム6本引きとなりますので、ケガが無いように試合前にインストラクターの方にストレッチを30分かけ行います。(これが意外にハードであります)

全試合が終了したところで、会場に来ている子供たちで綱引きをします。

女子チームが編成できていたところには、女子優勝チームと男子最下位チームでの



エキシビションゲームも行いました。(大体男子チームの完敗です 笑)

大会終了後は参加者全員での懇親会となり、100名前後の参加を頂いております。

女性部の皆さんに豚汁などを作ってください、盛大に行います。(女性部の皆さんご苦労様です)

大会を始めたころは、各地区にて懇親会をおこなっていましたが、「合同で懇親会を行いコミュニケーションを図ろう」となり、現在に至っております。

この懇親会の中で立科町の綱引き大会の選手選出もおこないます。

第30回立科町綱引き大会で混合の部で優勝できましたのも、この茂田井綱引き大会参加者全員の成果として感謝しております。

また、昨春秋には今回写真提供頂きましたなごみ会(老人クラブ)の皆さんによる作品展も行われております。小中学生の工作から書、絵画、写真、盆栽、裁縫、野菜など60作以上の出展があり見学に訪れた皆さんの心を和ませました。

